

# 困難に立ち向かう方

創業者や経営者、社長は失敗を重ね困難に直面した経験が数多く持っております。問題解決無くして今日はない強力な武器は、肉体的、精神的な健康です。それぞれが持つ基準が、社会や時代に役立つことで進化が始まります。「人事を尽くし、天命を待つ」のではなく、多くの場合「天命を信じ、人事を尽くす」ことが局面を切り開くのです。

自分を信じる力です。押しなべて最近、女性の創業割合が高い気がします。近頃草食男子が話題となっておりますが、現在のところ女性が元気な理由が見えてこないなせ元氣なのでしよう。立ち向かう力が、ソフトパワーだからでしょうか。軸の確かな「柔かな道」でしょうか。

志を「人々を幸せに」を実現、息をするように自然な、おもてなし、見返りのない愛を続けるため、ヒューマンを販売するのが事業になるのでは。人類は環境の中でしか生きて行くことが出来ない。感動を、共有できるか。共感を繋ぐことで幸せになれるはず。人類が進化するために、根本から考え、意識から変える必要があります。変えれば未来は変えられるのです。女性が社会の見えざ

## 多選は益ゼロ

なぜ知事多選を問題にする理由は、危機を感じているためです。5期20年の権力集中によって、現場が硬直した現状です（便り304号・許さざる者たち）。危機のシグナルをだす責任を、県民の一員として強く感じているものです。現場の官僚機構はヒラメです。目は上しか向いていません。ひやくまんさんしかり。本来向くべき県民から完全に離れ、組織自体が独

善です。行為が愚弄しているのです。謙虚のことばを組織自体が、喪失したため悪臭が県庁舎に漂っています。中央公園整備等で県がとった一連の行動は、正に石川県民を軽視したそのものです。直接議会の答弁書作成責任者に面接しヒラメを強く感じた。税を使い威圧する建物と、横にコピーした警察本部庁舎のセンスは、意識に無関係とはいえないでしょう。県や議員は「親方日の丸」で中身までダサくなつてきて無いでしょうか。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2013年11月25日(月) NO 324

地域から明るい未来を作ろう

## 健康が全てを語る

食関係では、フランスの料理や食文化、地中海周辺料理、メキシコの伝統料理、トルコの麦かゆ食など4件が登録されています。いずれも料理だけではなく、各地の伝統や儀式などとの関わりが評価されています。

和食が「無形文化遺産」になります。芸能や祭り、伝統工芸技術など対象。遺跡や自然が対象の「世界遺産」、文書や絵画などが対象の「世界記憶遺産」がユネスコの「三大遺産事業」と言われています。

## 和食が文化遺産

食関係では、フランスの料理や食文化、地中海周辺料理、メキシコの伝統料理、トルコの麦かゆ食など4件が登録されています。いずれも料理だけではなく、各地の伝統や儀式などとの関わりが評価されています。

国内では2012年までに歌舞伎など21件が登録されている。農水省は昨年、『自然の尊重』という精神を表現している『社会的慣習』の「頂きます」の「日本食文化」登録を目指していた。食料自給率が70%から40%に激減。作る人から食べる人のコミュニケーションが、家庭でも進んでいないでしょうか。

